

第1期事業年度
(平成16年度)

決算報告書

国立大学法人 帯広畜産大学

平成16年度 決算報告書 (第1期事業年度)

国立大学法人 帯広畜産大学

(単位:百万円)

区 分	予 算	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,030	3,030	0	
施設整備費補助金	22	22	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	12	12	0	
自己収入	849	838	11	
授業料及び入学料及び検定料収入	749	714	35	(注1)
雑収入	100	124	24	(注2)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	301	862	561	(注3)
計	4,214	4,764	550	
支出				
業務費	3,879	3,609	270	(注4)
教育研究経費	3,326	2,485	841	
一般管理費	553	1,124	571	
施設整備費	22	22	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費	301	663	362	(注5)
長期借入金償還金	12	12	0	
計	4,214	4,306	92	
収入 - 支出	0	458	458	

予算と決算の差異について

- (注1) 休学, 退学による23百万円の減額及び平成17年度入学者の前倒授業料見込額10百万円の減額等による収入減となっています。
- (注2) 予算段階では見込んでいなかった光熱水料私用分を14百万円収入計上したこと等により決算金額が24百万円多額となっています。
- (注3) 科学技術振興調整費を含む金額規模の大きい受託研究の獲得に努めたため, 予算金額に比して561百万円決算金額が多額となっています。
- (注4) 業務費については, 学内予算において不測の事態に備え計上した調整費の残額31百万円及び退職手当(特殊要因経費)繰越分137百万円の未支出によるもの等により決算額が270百万円少額となっています。
なお, 教育研究経費及び一般管理費については, 予算段階では運営費交付金算定ルールに基づき教育研究経費で整理されていた人件費の一部を, 本学の実情に合わせ一般管理費の人件費で執行したことにより, 予算金額に比して決算金額の差が多額となっています。
- (注5) 注3に示した理由により, 予算金額に比して決算金額が362百万円多額となっています。